E－Cycleクラブ

「地域連携による自転車利用促進事業」

E-Cycleクラブ事業

（イーサイクル）

宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA ）

2008年度事業実績

２００９年４月
宇部市地球温暖化対策ネットワーク
Ｅ－Ｃｙｃｌｅクラブ

独立行政法人
環境再生保全機構
助成事業

地域連携による自転車利用促進事業（E－Cycleクラブ事業）

・事業主体：宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）

・事業助成：環境再生保全機構／地球環境基金平成20年度助成事業

・事業期間：平成20年4月～21年3月

・協力団体：宇部市、山口大学、UNCCA会員企業宇部市自転車商協同組合他

事業の趣旨・目的

- 宇部地域の問題点
  - ●スプロール化した市街地
  - ●自動車トリップ率が80％
  - ●自転車トリップ率が7％

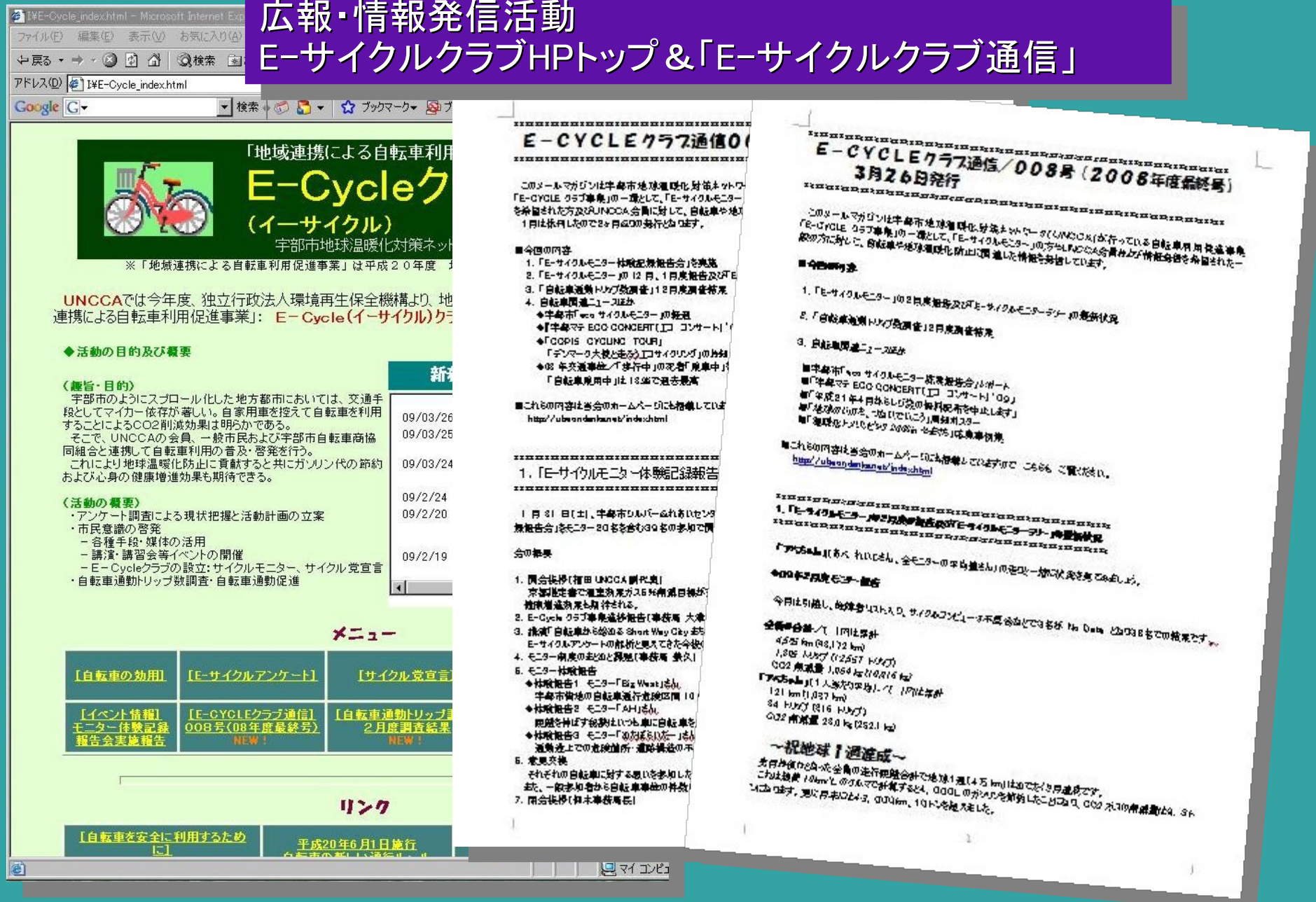
- 家庭のCO2排出量の約30％はガソリン
- 温室効果ガス6％削減の国家目標
- マイカーを控え、自転車利用促進する
- ガソリン代の節約、健康増進効果

活動状況 1

- アンケート調査により自転車利用の現状把握（6月）
  - 団体40件、個人700件の回答
  - 内容分析→提言（山大村上研）
- 自転車利用促進セミナー（7月20日）
  - 「自転車の新しい波」自転車活用推進研究会
- 啓発・情報発信
  - ホームページ開設（6月初～）
  - イベントでの呼びかけ（リサイクルフェア、宇部まつり）
  - E-サイクル通信の発行（8号まで発行）
  - メディアによる広報（宇部日報、エフエムきらら、市広報）

自転車利用促進セミナー
基調講演「自転車利用促進のための戦略」（自転車活用研究会石田副理事長）

広報・情報発信活動
E−サイクルクラブHPトップ＆「E−サイクルクラブ通信」



広報・情報発信活動
地元メディア「FMきらら」レポーターからの取材（生放送中）

宇部まつり
自転車発電装置で白熱電球とエコ電球の使用電力の差を実感してもらう

活動状況 2

- E−サイクルモニター（7月～3月）
  41名　走行データ・走行上の課題収集
  モニター体験記録報告会（1月）
- サイクル党宣言者募集（6月～）
  宣言者にステッカー配布
  イベント等で呼びかけ300名宣言

- 自転車通勤トリップ数調査
  12団体で自転車通勤状況を調査
  （10月、12月、2月）

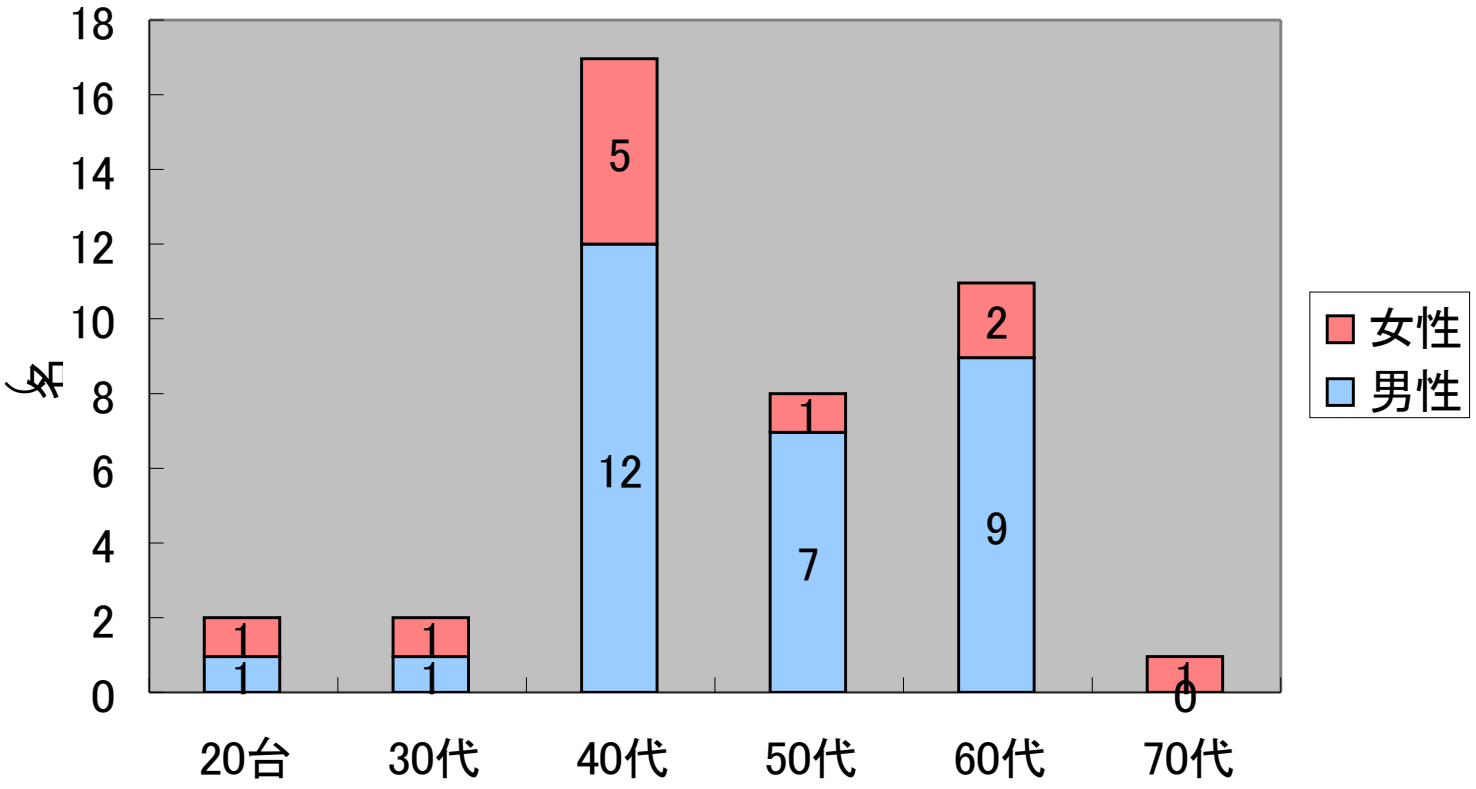
E-サイクルモニターの概要

●モニター人数　　：　41名（男性30名　女性11名）
　　24～75才（平均50才）
●モニタリング期間　：　2008年7月16日～2009年3月末日
●E-サイクルモニターにやっていただく事
　o自転車をもっと利用するための自己目標設定
　oサイクル党宣言
　oサイクルコンピューターの毎月のデータの報告
　（走行距離トリップなど）
　oモニター体験感想文の提出と報告会への出席

モニターには
サイクルコンピューターを支給

E-サイクルモニター
女性モニターにサイクルコンピュータの取り付けと使用法を説明

モニターの年齢分布


18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
人
1
1
1
1
5
12
1
7
2
9
1
0
20台
30代
40代
50代
60代
70代
女性
男性

モニターの自己目標

	人数
利用目的・条件 通勤、所用、休日、市内、近場、 行ける範囲、好天時	22
走行距離・利用回数 50～300km、週2回以上	12
健康維持・体力アップ 体重・メタボ・血圧・脚筋肉率	6
その他 無理せず、のんびり	1
合　計	41

モニターさんに
飽きずに楽しく自転車に乗ってもらうために…

★ホームページや「E-サイクル通信」で
記録やコメントを公開

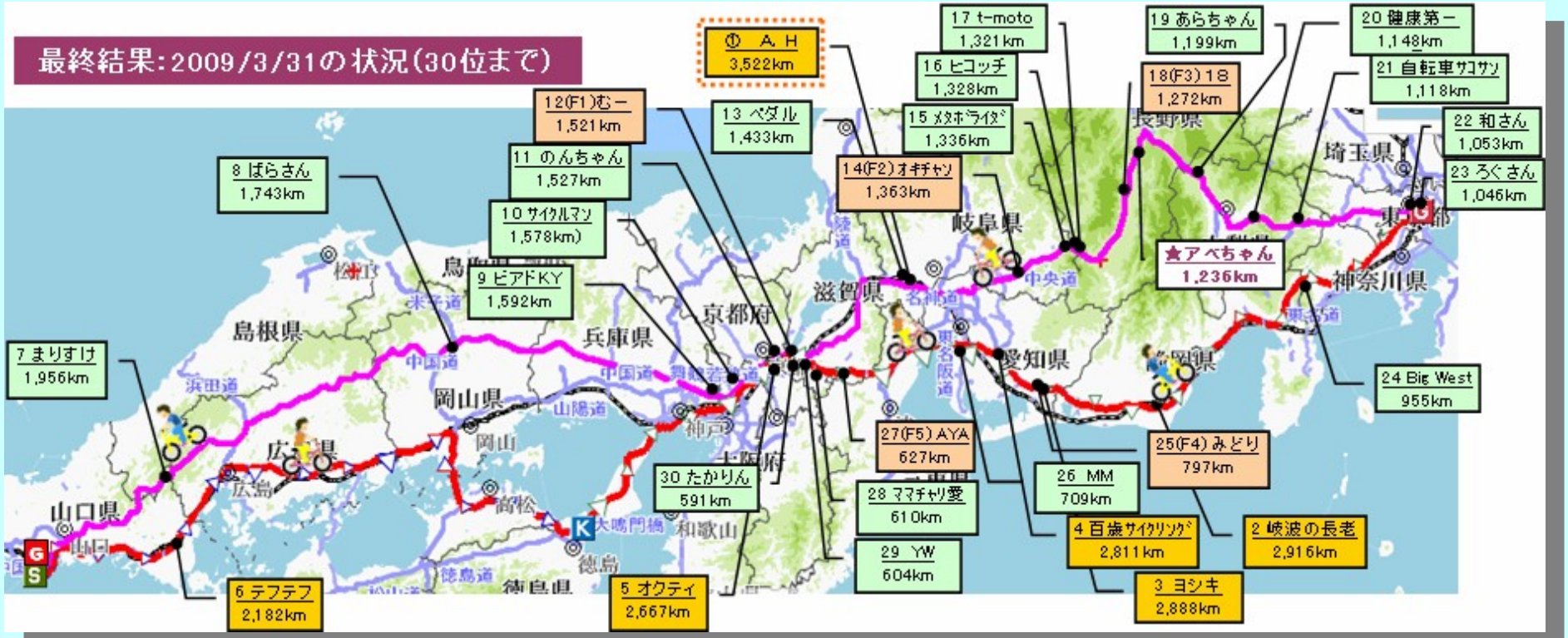
★何でもベスト３
（走行距離、トリップ数、向上率）

★今月のモニター紹介

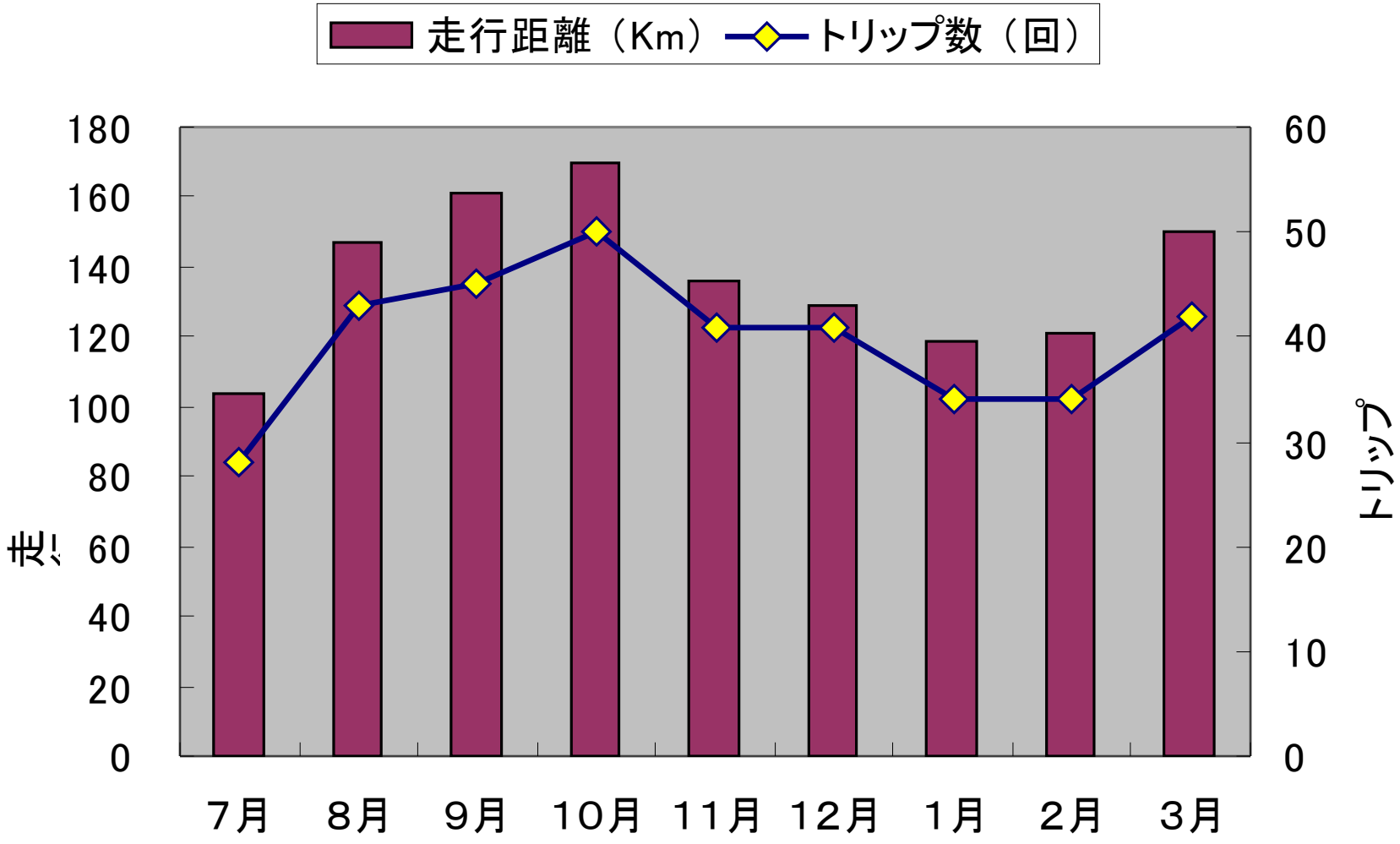
★架空のモニター
アベちゃん登場！

E-サイクルモニターラリー

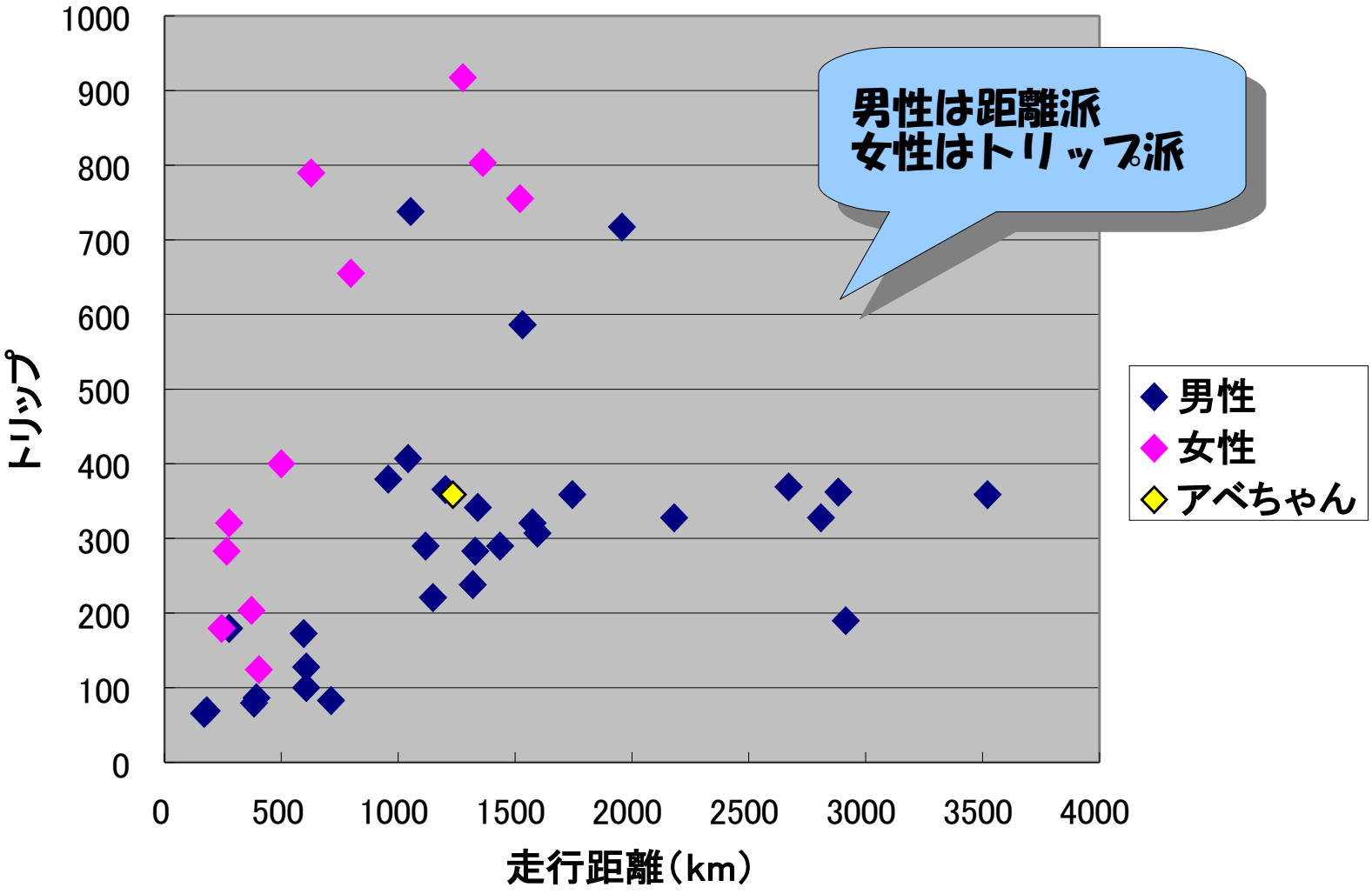
宇部市役所前を出発して東京国会議事堂前を折り返し
宇部に戻ってくる全長 ２，０９０ Kmのラリー



アベちゃん(モニター平均)の自転車利用推移



E-サイクルモニター/走行距離とトリップ数の関係



E-サイクルモニター

7月から3月までで

全員で走った距離	：	49,000 Km
トリップ数	：	14,200回

節約したガソリンの量	：	4,900リットル
削減したCO2の量	：	11,300 Kg

モニター体験記録報告会
講演「自転車から始めるShort Way Cityまちづくり」（山口大学村上准教授）

自転車利用の輪を広げるために大切なこと

E-サイクルアンケート解析からの提言部分

- 自転車安全走行環境の整備
  - 自転車レーンの整備（車道が基本）
- 自転車走行ルール・マナーの徹底
  - 自転車も道路を分かち合う車の仲間
  - Share the Road
  - 学校教育で、運転免許講習で
- 企業・学校・自治体の自転車通勤支援策(自転車通勤手当、エコポイントetc.）

E-サイクルアンケート解析からの提言部分

A．行政
自転車走行環境整備
（自転車レーン・歩道）

UNCCA
地球温暖化対策
ネットワーク
まちづくり市民活動

B．利用者
自転車ルール・
マナーの向上
教育啓発

C．企業・団体・大学
通勤手当、環境整備
エコポイントなどの
インセンティブ

安全で快適な自転車走行環境をつくるために

E-サイクル事業今後の課題

- アンケートやモニターからの道路情報、改善要望などを行政に伝える
- 市ecoサイクルモニターとの統合
- 自転車利用に対する優遇施策実施を企業等に求める活動
- 道路つくり街づくりへの提言活動
- 安全・マナー教育実践活動

↓

- 自転車利用促進協議会（仮称）設立準備